

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 茅ヶ崎市浜見平計画	階数	地上7F
建設地	神奈川県茅ヶ崎市浜見平422番9	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域	平均居住人員	1,188 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年1月 予定	評価の実施日	2013年9月20日
敷地面積	15,498 m ²	作成者	株式会社長谷工コーポレーション
建築面積	4,757 m ²	確認日	2013年9月20日
延床面積	24,710 m ²	確認者	株式会社長谷工コーポレーション



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 2.0

S: A: B+: B: C:

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

参照値: 100%

建築物の取組み: 72%

上記+ 以外の: 72%

上記+ : 72%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです (kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5

Q1 室内環境: 3

Q3 室外環境 (敷地内): 2

LR1 エネルギー: 1

LR2 資源・マテリアル: 1

LR3 敷地外環境: 2

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 3.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 4.0

視環境 音環境 温熱環境 空気質環境

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

機能性 耐用性 対応性

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.8

生物環境 まちなみ 地域性

LR のスコア = 3.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.6

建物の 自然エネ 設備システ 効率的

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

水資源 非再生材料の 汚染物質

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

地球温暖化 地域環境 周辺環境

3 設計上の配慮事項		その他
総合 緑豊かな敷地沿道の雰囲気作りと、住棟外壁におけるアースカラーの採用。分節型のファサードデザインをすることで地域になじむ温かみのある景観創出に努めた。		0
Q1 室内環境 ・省エネルギー対策等級4相当。 ・住戸には庇(バルコニー)及びカーテンレールを設置。 ・F V O Cの放出が極めて少ない部材を採用。	Q2 サービス性能 ・共用部維持管理対策等級2、劣化対策等級3取得予定。	Q3 室外環境 (敷地内) ・茅ヶ崎市の景観計画に適合した彩色とした。 ・周囲への圧迫感軽減のため、コの字型の住棟配置と分節型のファサードデザインを採用した。 ・地区計画による壁面後退に加えてより大きく沿道緑化部を設けることにより、良好な環境作りにも努めた。
LR1 エネルギー ・エコジョーズを採用し、エネルギーの有効利用を図るとともに、省エネ等級4相当を確保することで建物の熱負荷の抑制に努めた。開放廊下側及び妻側のサッシは複層ガラスとする。(空気層6mm)	LR2 資源・マテリアル ・内装の更新性に配慮し、二重天井、二重壁の採用。 ・建築躯体の再利用可能性向上に努めた。	LR3 敷地外環境 ・沿道緑化に努め、茅ヶ崎市の緑化基準に適合。 ・茅ヶ崎市の指導に基づいた雨水排水の流出抑制対策を実施。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される